

氏名

点数 点/100点

各論演習 31-1

問1)

A社（発行済株式総数5,000株）はB社（発行済株式総数3,000株）を×1年4月1日に吸収合併した。次の資料にもとづいてパーチェス法により処理した場合（A社を取得企業とする）の合併後のA社貸借対照表を作成しなさい。

（資料1）合併直前の両社の貸借対照表

資産	A社	B社	負債・純資産	A社	B社
諸資産	2,500,000	2,000,000	諸負債	1,100,000	700,000
のれん			資本金	800,000	700,000
			資本準備金	120,000	160,000
			その他資本剰余金	100,000	130,000
			利益準備金	100,000	100,000
			任意積立金	80,000	50,000
			繰越利益剰余金	200,000	160,000
	2,500,000	2,000,000		2,500,000	2,000,000

（資料2）合併に関する事項

- ① A社はB社株主が所有するB社株式3,000株と引換えにA社株式1,800株を発行して交付する。A社株式の時価は1株あたり780円である。なお、A社の増加する株主資本のうち2分の1ずつを資本金と資本準備金とする。
- ② B社の諸資産の時価（公正価値）は2,199,960円であり、諸負債の時価（公正価値）は808,305円である。

解1)

資産	金額	負債・純資産	金額
諸資産		諸負債	
のれん		資本金	
		資本準備金	
		その他資本剰余金	
		利益準備金	
		任意積立金	
		繰越利益剰余金	

氏名

点数 点/100点

各論演習 31-2

問1)

A社（発行済株式総数5,000株）はB社（発行済株式総数3,000株）を×1年4月1日に吸収合併した。次の資料にもとづいてパーチェス法により処理した場合（A社を取得企業とする）の合併後のA社貸借対照表を作成しなさい。

（資料1）合併直前の両社の貸借対照表

資産	A社	B社	負債・純資産	A社	B社
諸資産	2,500,000	2,000,000	諸負債	1,100,000	700,000
			資本金	800,000	700,000
			資本準備金	120,000	160,000
			その他資本剰余金	100,000	130,000
			利益準備金	100,000	100,000
			任意積立金	80,000	50,000
			繰越利益剰余金	200,000	160,000
		2,500,000	2,000,000		2,500,000

（資料2）合併に関する事項

- ① A社はB社株主（A社を除く）が所有するB社株式1株につきA社株式0.6株を発行して交付する。A社株式の時価は1株あたり780円である。なお、A社の増加する株主資本のうち2分の1ずつを資本金と資本準備金とする。
- ② B社の諸資産の時価（公正価値）は2,199,960円であり、諸負債の時価（公正価値）は808,305円である。
- ③ 上記貸借対照表におけるA社の諸資産のなかには、B社株式300株（B社の発行済株式総数の10%）が含まれている。当該株式には評価差額は計上されておらず、帳簿価額は132,376円である。
- ④ 解答すべき数値がない場合は“-”（横棒）を記入すること

解1)

資産	金額	負債・純資産	金額
諸資産		諸負債	
B社株式		資本金	
のれん		資本準備金	
		その他資本剰余金	
		利益準備金	
		任意積立金	
		繰越利益剰余金	